

在南ア日本大使館
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol. 17

文・写真◎新保 剛



2010年のワールドカップ開幕まで、あと219日。
開催国の南アのことをよく知らない人も多いだろう。
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう!

南アにも「オタク」がいる。オタクであるから日本に向かうのだが、南ア人のオタクは日本に入国する際に査証（ビザ）が必要なので、申請を受ける筆者の手元にはオタク・ツアーの情報が集まることになる。以下、ちょっと紹介してみよう。

元祖オタク・ツアー。目的地には当然のことながらメッカである秋葉原が含まれている。日程表にはメイド喫茶訪問とか、中野の某有名書店で買い入れ等と書き込まれていて、なかなか楽しそうだった。昨年まで南アではオタク・マガジンなるアニメ専門誌が発行されていたことがあり、愛好者の裾野は広い。

錦鯉オタク買い付けツアー。南アのホテルなどでは池に錦鯉が泳いでいるのを見かけることがあるが、これは愛好家と取り扱い業者がいるためだ。毎年10月に、新潟や広島など山間部の産地をまわるツアーが出る。都市部や観光地には目もくれず、産地を巡るだけの強行日程だ。

●「アニメ、丹頂鶴、武道…南アのオタク事情」●



▲南アのオタク・マガジン。
驚くほどクオリティーが高い

さて、南アにくる日本人オタクも紹介しておこう。希少動物オタクだ。これはかなり危険である。以前、珍しいトカゲを日本に持ち帰ろうとして空港で発覚し、逮捕されたケースがあった。逮捕された外国人が希望すると、南ア当局はその国の大使館に逮捕したことを通報することになっているが、大使館が関わったとて、処罰内容に変わりはない。

当局は、この種の密輸者に対して厳しい姿勢で臨んでいるので、危ない橋は渡らないようにしてほしいものだ。日本へ持ち帰るのは空港や市中のお土産屋で買える物で十分である。

丹頂鶴オタク観察ツアー。南アには野鳥観察の愛好家が多い。それは書店に、携帯用の野鳥図鑑が多く売られているから、間違いないだろう。このツアーは千歳空港から入国し、滞在地は冬の釧路湿原のみという非常にストイックなものだ。

武道オタク稽古ツアー。これが最も人数が多い。空手、柔道、剣道、弓道、合気道などがあり、前述のオタクのほぼ全員が男性なのに、対し、こちらには女性も多い。有段者のレベルは高く、正座して端正にお辞儀するが、その姿にはすでにスキがない。数日間を師範の道場で稽古して過ごし、その後、観光して帰るという日程が一般的だ。

著者プロフィール●一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html